



# はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより

令和4年8月29日号

発行者 遠藤 一義 (校長)

☆令和4年度 学校教育目標☆  
夢をもって未来を切り拓く  
調和のとれた子どもを育てる

よく考えすすんで学ぶ有馬の子  
健康でたくましい有馬の子  
心豊かで思いやりのある有馬の子

## 「2学期のスタートにあたり」

この夏は、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなりました。しばらく帰省や旅行を控えていたため、しばらく会えなかった祖父母と久しぶりの再会ができた、ということもあったのではないのでしょうか。「人との距離」を取ることを求められている日々ですが、「直接会って話す」ということが、あらためて必要なことであると実感された方も多かったことと思います。



第7波は依然収まる気配を見せませんが、昨年や一昨年とは少し違った夏休みが過ぎ、今日から2学期がスタートします。8/19付けのガイドラインにある通り感染レベルを「レベル1」として、学校教育活動は1学期までと同様に進めていくこととなります。2学期は運動会や修学旅行等の行事も控えております。少しでも感染状況が改善され、リスクが1%でも下がった状況で実施できますよう、今後も感染防止対策にご協力いただきますようお願いいたします。

## 「先祖から？ 子どもから？」

今年の夏は、国内外で豪雨災害の被害や干ばつ・異常な気温等が報道されています。地球環境の変化が原因と言われ、先人から引き継いだ地球を大切にしなければいけないという指摘があります。

また、世界各地では紛争や武力衝突が起こっています。「安全・安心」な日常が一瞬で破壊され、「平和」を全く実感することのない生活を強いられている人々がたくさんいます。



『地球は先祖から受け継いだのではない。子どもたちから借りたものだ。』

これは、「星の王子さま」の作者、サンテグジュペリの言葉です。この言葉に触れたときに、私はハッとしました。

地球環境も平和な世界、どちらもバランスを失っているという現実があります。このまま放置してもよいかと聞かれれば、間違いなく全員が「NO」と答えるでしょう。では、このバランスを整えるのは何のためでしょうか。「先祖から受け継いだ」のであれば、今生活をしている自分たちのために受け継いだ状態を保つことが目標となります。しかし「子どもたちから借りたもの」であれば、未来の子どもたちにきちんと返すため、となるのではないのでしょうか。子どもたちはこれからの「未来の地球」で生きていくのです。



子どもたちから借りた大切な地球、環境も平和もそのほかの様々なものを含めて、大人は胸を張って「利子」をつけて返却しなければならない、と感じました。そして、そのために何ができるのか、大人は大きな宿題を背負っていると思います。

### ★9月の主な行事予定★ (8/29時点)

- 7日(水) 修学旅行保護者説明会
- 8日(木) 6年有馬中合唱リハーサル参観
- 9日(金) PTA 常任委員会・広報委員会
- 21日(水) 修学旅行判断日①
- 26日(月) 全校朝会

### ●電話対応時間について●

- \*通常の学校課業日：8時00分～17時30分
- \*長期休業中：8時30分～17時00分
- \*土曜・日曜・祝日：終日留守番電話対応
- \*その他、教職員研修日等、変則的になることがあります。ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。